

JRひがし労仙台 業務部情報

2020年4月15日
N O , 0 6 9
JR東労働組合仙台地本業務部
発行責任者：横山裕介

申19号白石駅の業務委託に関する申し入れ団体交渉

第1項：委託後の白石駅の業務内容と要員体制を明らかにすること。

回答：業務委託の内容とについては、受託会社との間で締結される駅業務委託契約に基づくことになる。なお、業務委託後の体制については、受託会社で決定することになる。

(会) 業務内容というのは、**運転業務を除く駅業務全般をリビットに担ってもらう形になる。**今白石駅でやっている運転業務と言われるのは、採石輸送とかレール輸送の**入れ換えに関しては、管理駅である白石蔵王で対応する形になる。**あとは、体制というのはほぼ同様とリビットから聞いている。

第2項：仙台駅で行われているような、平成採の出向(若年出向)の有無を明らかにすること。

回答：社員の運用にあたっては、任用の基準に則り取り扱うこととなる。

(会) 基本的には仙台駅の場合は大型構内委託だったので平成採の出向者というのはいて、安定的に運営していくという意味合いで入れているので、**基本的に白石に関しては平成採というところは今のところ考えていない。**

(組) 基本的にそのエルダーの方が5年後には居なくなるということで、リビットが人材を確保していくということか。

(会) 5年後10年後どのように運営していくのかは向こうの会社でも考えているので、それに必要な社員数は確保していくということをリビットでもしてもらっている。

第3項：関係社員や説明会等の期日を具体的に明らかにすること。

回答：必要な説明は実施していく考えである。

(会) **点呼等では話をいただいて、詳細を業務委託への整理を行っていくにあたって管理駅でやらなければならない業務とか、変わっていくところは委託前に駅の勉強会のなかでも、話をいただく**というところをお願いしている。

(組) 委託されるにあたって、物とかがどうなるのか知りたかったと言われている。

(会) 白石駅の業務に関わるものは、委託の時に引き継ぎをするような形になる。基本的には、今あるもの、必要なものを引き継ぐ。

第4項：白石駅の委託によって、白石蔵王駅単体の要員の増減が不明な為明らかにすること。

回答：業務に必要な要員は確保していく考えである。

(会) 白石駅の体制に関して言うと、大河原にブロック長が居るのだが、そこに白石も入るので、**白石にブロック長の在籍場所を変える方向で調整している。**あとは蔵王の中身で言うと、基本的に白石の標準数を取っただけなので、**体制としてはこれまでと変わらない。**